

総合的な学習の時間 学習指導案
 単元名「〇〇市の染め物を人気にしよう！大作戦！」
 探究課題「地域の伝統文化と人々の心」

令和〇年〇月〇日（〇） 第〇校時 〇〇〇〇〇〇
 〇〇立〇〇小学校 5年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の目標

〇〇市の伝統工芸である染め物とそれに携わる人々の思いや願いに触れ、そのよさや思いを伝える活動を通して、自分が住む地域で受け継がれてきた伝統工芸のよさに気づき、伝統工芸の継承について自分にできることを考え、地域の伝統や文化を大切にして伝統文化の継承に積極的に関わろうとすることができるようになる。

II 小単元の構想

1 小単元の目標及び児童の実態

	小単元の目標	児童の実態
知識及び技能	・草木染めを体験したり調べたりする活動や職人へのインタビュー、アンケート作成を通して、地域で受け継がれてきた伝統工芸のよさやそれに携わる人々の思いや願いに気付くことができる。	・インターネットや、職人へのインタビュー、見学や体験を通して、伝統工芸について調べている。伝統工芸である染め物や手捺染の染め方・魅力について知っている。
思考力、判断力、表現力等	・草木染めを体験する活動を通して、手捺染での学びを基に伝統工芸のよさを守ったり広げたりするために自分たちにできることを考えることができる。	・話し合い活動では、手捺染の見学で知った染め物のよさを生かせるように、技術を守ったり認知度を広げたりする方法について、自分たちにもできる案を出し合っている。
学びに向かう力、人間性等	・草木染めを体験し、オリジナルストールの染め物を展示する活動を通して、職人の思いや友達の考えを生かしながら、〇〇市の染め物を大切にしようとする思いをもつことができる。	・総合的な学習の時間外にも、染め物に興味を示したり積極的に染め物について関わろうとしたりしている。 ・見学や体験活動では、職人へのインタビューや染め物作りに対する思いを聞くことで、自分の考えを広げようとしている。

2 評価規準

知識・技能	① （知識）草木染めは、材料によって染まり方に違いがあることを知り、草木染めのよさやその継承に力を注ぐ人々の思いや願いを理解している。 ② （技能）インタビューやアンケート作成を、相手や場面に応じた方法で実施している。 ③ （探究的な学習のよさの理解）〇〇市の染め物に対する自らの認識の高まりは、伝統工芸の継承のために探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。
思考・判断・表現	① （課題の設定）課題の解決に向けて、〇〇市の染め物を広めることを意識して、解決への見通しをもって計画を立てている。 ② （情報の収集）課題を解決するために、自分たちの身の周りから情報を集めようとしている。また、ICTを活用して、幅広い情報を集めている。 ③ （整理・分析）課題の解決に必要な情報を選択したり、関係付けたりしながら、解決に向けて具体的な活動を考えたり、自己の生き方を考えたりしている。 ④ （まとめ・表現）草木染めのよさやその継承に力を注ぐ人々の思いや願いを広めるために自分たちにできる方法を見つけ、形にしている。
主体的に学習に取り組む態度	① （自己理解・他者理解）自分と異なる他者の意見や考えを認めたり、他者の意見から自分の意見を広げたりしながら、考えや生き方に生かそうとしている。 ② （主体性・協働性）他者と協働して探究活動に取り組むとともに、自分たちにできることについて考え、主体的に課題を解決しようとしている。

4 指導及び評価、ICT 活用の計画（全 70 時間：本時 38/70）

時	学習活動	知	思	主
1～25	サイクル1「手捺染を通して〇〇市の染め物を広めよう。」			
26	・手捺染について分かったことやそれを通して感じた事について話し合い、より〇〇市の染め物を広めるために、次に取り組んでいきたいことを話し合う。(あ)		①	
27～29	・手捺染以外の〇〇市の染め物について調べ、材料や手順などを調べる。(う) 単元の課題 草木染めを通して〇〇市の染め物を広めよう。		②	
30～32	・染め物工場へ見学に行き、草木染めについて職人にインタビューし、職人の思いや考えに触れる。(い)	②		
33～36	・集めた情報を基に絹のストール染めをする。(い)			②
37	・試しのストール染めの経験やこれまでに集めた情報を基に、草木染めの手順や職人の思いをまとめる。(あ)	①		
38～39 (本時)	・試しのストール染めの経験を基に、自分の思いを生かしたストール染めに向けて、〇〇市の草木染めのよさがより伝わるデザインを話し合う。		③	
40～42	・〇〇市の草木染めのよさが伝わるような色や模様染まるように、さらに職人にインタビューしたり、調べたりする。(い)	②		
43～45	・職人にインタビューしたり、調べたりしたことを基に二度目の絹のストール染めをする。(い)			②
46～47	・草木染めを通して〇〇市の染め物を広めるために自分たちにできることについて話し合う。			①
48～54	・草木染めを通して〇〇市の染め物のよさやその継承に力を注ぐ人々の思いや願いをまとめ、広める準備を進める。(い)(え) 例：ポスター、チラシ、新聞、放送、展覧会など。		④	
55	・取組の成果や課題を見直す。	③		
56～70	サイクル3「伝統工芸を守っていくために自分たちができることは何だろう。」			

活用する学習支援ソフト等：(あ) オクリンク (い) カメラ・動画 (う) Web サイト
(え) google スライド

Ⅲ 探究課題の価値

<p>〇〇市には、こいのぼりやシルク製品、和装製品の染色を行う工房があり、群馬県ふるさと伝統工芸士に認定された職人もいる。全国的に伝統的工芸品の生産額が漸減傾向にあり、伝統工芸士も職人の高齢化に伴い減少傾向にある。その中で地域の伝統や文化を大切に、次世代に継承したいという思いをもつ職人がいる。</p> <p>児童は、第3学年で、〇〇織や重伝建地区の学習を通して、〇〇市の伝統文化への関心が高まってきている。そのような児童にとって、本探究課題を探究することは、「伝統工芸のよさやそれに携わる人々の思いや願いを知り、自分たちで広めていこうとすること（創造性）」や「友達や地域と力を合わせ、目的の実現に向けて取り組むこと（協働性）」などの概念的な知識を獲得することができる。と考える。</p> <p>また、社会科の私たちの生活の課題の解決方法を考える学習、国語科の報告文の学習など、各教科との関連を図り、横断的・総合的に学習を進めていく中で、〇〇市の伝統文化を多様な角度や側面から俯瞰して捉え、探究することができる。そして、地域や保護者の協力を得ながら、地域の一員として、〇〇市の伝統文化を守り、受け継ごうとする人々の思いに触れ、自己の生き方を考えることにつながる。</p>

IV 本時の学習（38／70）

1 ねらい ○○市の草木染めのよさが伝わるデザインについて話し合う活動を通して、○○市の草木染めのよさがより伝わる染め方と、ストールを染めた経験や多様な情報を関連付けながら、○○市の草木染めの魅力やその技術を理解し、草木染めに対する異なる意見や友達の考えを尊重しようとしている。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 児童の反応・発言等〔S〕	主な発問	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(10分)</p> <p>S：今日はもっと草木染めのよさを生かしたストールのデザインを考えて、2回目のストール染めのデザインを決めるのだったな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈めあて〉草木染めのよさや○○市らしさを生かしたストールのデザインを考えよう。</p> </div>		<p>○前時の課題意識を想起できるように、各自のストールのデザインイメージを見直すよう促すとともに、本時の活動を問いかける。</p> <p>○前時に送信した各自のストールのデザインイメージをモニターに映す。 【★提示】</p> <p>○検討の見通しがもてるように、「魅力的か」と「実現できるか」の視点を提示し、教師のデザインモデルを例に検討の流れを演示する。</p>
<p>2 ○○市の草木染めのよさが伝わるデザインをグループで話し合う。(20分)</p> <p>S：1つ目のデザインは、八木節まつりをテーマにして、熱気を表す波線を入れて、波線の上下で色を変えてみたいな。</p> <p>S：やっぱり自分たちで波線は作れないと思うから、魅力的だけど、実現が難しそうだね。3位にしようかな。</p> <p>S：2つ目のデザインは、八木節をたくさんの人が踊っている様子をイメージして、人を表す丸をたくさん入れたいな。</p> <p>S：丸は輪ゴムを使えばできるし、丸がたくさんあると魅力的だよ。でも、確かに1色だとつまらないから、2位にしよう。</p> <p>S：3つ目のデザインは提灯を表すために赤っぽい茶色と熱気を表すオレンジの2色にしたいな。</p> <p>S：確かに3色にすると、色の魅力が伝わりそうだね。よさも伝わって、実現もできそうだから1位にしよう。</p>		<p>○○○市の草木染めのよさがより伝わるデザインを検討できるように、色分けした付箋で「魅力的か」「実現できるか」の2つの視点ごとにランキングする活動を設定する。</p> <p>○ランキングの位置付けの根拠を示せるように、草木染めやデザインに関する図書資料や、各自の○○市らしさを感じる画像、試しのストール染めを用意する。</p> <p>○自由に資料を参照できるように、資料コーナーや1回目に染めたストールを用意するとともに、必要に応じてタブレットで草木染めを経験した際の動画やデザインに関する Web サイトを調べる機会を保障する。 【★調査】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目（思③）2回目のストール染めの染め方について、○○市の草木染めのよさがより伝わる染め方と、ストールを染めた経験や多様な情報を関連付けながら、アイデアをかいたり、視点に沿って話し合ったりしている。</p> </div>
<p>3 今後の学習計画を立てる。(10分)</p> <p>S：実際に染めるデザインが決まったけど、本当に模様が出るか心配だから、もっと調べたいな。</p> <p>S：みんなと協力して活動したいから、今後の計画を立てたいな。</p>		<p>○見通しをもって今後の活動に取り組めるように、伝統工芸士さんに取材して分かった染めの手順や、試しのストール染めの経験を思い出すよう促すとともに、カードに記入した活動の順序を問いかけてながら掲示する。</p>
<p>4 学習内容を振り返る。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈まとめ〉デザインを決めるためには、魅力的か、実現可能かを考えながら決めることが必要だ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈つなぐ〉決まった染め方の具体的な方法について、詳しく調べていこう。</p> </div> <p>S：「実現可能」で「魅力を生かした」デザインが考えられた。次は3色にチャレンジしたい。布を三等分する染め方について調べていきたい。</p>		<p>○新たな工夫の視点を得られるように、クラウド上で検討前後のストールのデザインイメージを共有し、明確な根拠を基に変更した児童の作品を提示する。 【★一覧表示・提示】</p> <p>○調べ学習や職人へのインタビューにつなげられるよう、インタビューしたいことを問いかけてたり、図書を参照するよう促したりする。</p> <p>○次時への意欲を高められるよう、本時の取組を価値付けると共に、探究的に学んでいる具体的な姿を称賛する。</p>

< 授 業 記 録 >

教師の発問・児童（生徒）の反応

学習の様子

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(10:30)

T: 今日は何をやるのでしたか? (ホワイトボード上の〈つなぐ〉を指で示す。)

S: ストールのデザインを話し合う。 S: 話し合って決める。

T: そうでしたね。では、めあてを書きましょう。

<めあて>オリジナル스토ールのデザインを決めよう。

T: 話し合いの仕方を説明します。

今日はランキングで決めていきましょう。

デザインを考える上で大切なことは何でしたか?

S: 「魅力的か」 S: 「実現できるか」

T: 「魅力的か」というのはどういうこと?

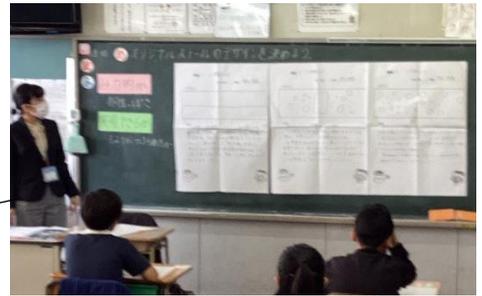
S: ○○市らしさ。 S: 色とか模様とか。

T: 「実現できるか」というのはどういうこと?

S: 実際にそのデザインのとおり染められるかということ

.....

(教師のデザインモデルを示して付箋紙でランキングしながら検討する流れを説明する【テーマ例: 八木節】)



2 ○○市の草木染めのよさが伝わるデザインをグループで話し合う。(10:44)

S1: 僕はデザインを「やきまんじゅう」「アマガッパ (学校のゆるキャラ)」「○○寺」にしたよ。どれがいいと思う?



S2: デザイン的には1位が「やきまんじゅう」で、2位が「アマガッパ」、3位が「○○寺」じゃない?

(1、2、3と書かれたピンク色の付箋紙をデザイン用紙に貼る)

S3: うん。分かる。 S4: 同じかな。

S1: まあ、そうかな。じゃあ「実現可能(か)」の方は?

S2: うーん、これも1位が「やきまんじゅう」で、2位が「アマガッパ」、3位が「○○寺」じゃないかな?

(1、2、3と書かれた緑色の付箋紙をデザイン用紙に貼る)

S1: えっ、どうして? 「アマガッパ」のデザインの方がほとんど○だけでできるからさ、輪ゴムだけで縛って作れば1番実現できそうじゃない?

S3: でも、頭の★はどうやってやるの?

S1: うーん...ビーズで絞れば...ダメかな?

S3: そんなに大きいビーズはないよ。

S1: じゃあ、頭の★の形は諦めて、●にしたらいじゃない?

S4: それじゃあ「アマガッパ」じゃないよ。実現できてないよ。

S1: そうかあ.....

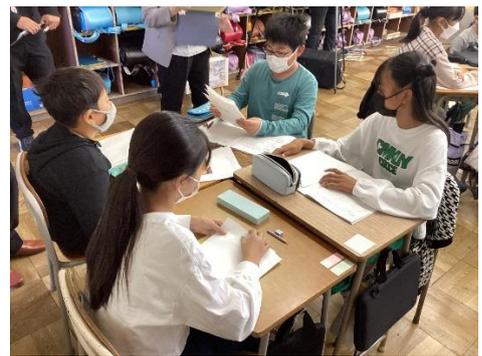
S2: じゃあ1位の「やきまんじゅう」はどうやって作るつもり?

S1: まず、輪ゴムで絞って三つの輪の形を作れば饅頭になるでしょ。それから割り箸を使って串の形に作ればできると思う。

S3: 割り箸で棒の形に絞れるの?

S1: できると思う。この本に書いてあるよ。

(立て掛けてある草木染めの図書資料を指し示す)



.....(話し合いは続く)

3 今後の学習計画を立てる。(11:06)

T:よく話し合っていましたね。この後はどうしたいですか。

S:染めたい!

T:そうだね。でも、いきなり染められるかな?

S:(染める)材料集めが先。輪ゴムが3000個くらい必要。

S:ビー玉。 S:洗濯ばさみも。 S:染め液だよ。

T:あとは材料だけ集められれば大丈夫そうかな?

S:もう一回染め方を調べなおしたい。

S:〇〇(職人)さんに、本当にできるかどうか聞きに行きたい。

S:無理だって言われるかも。

S:さすがにそんなにひどいことは言わないでしょ。

T:それぞれが何時間くらい必要かな?

S:材料集めは1時間(でできる)。

S:家で集めてくるよ。

T:〇〇(職人)さんに話を聞くのはいつにする?

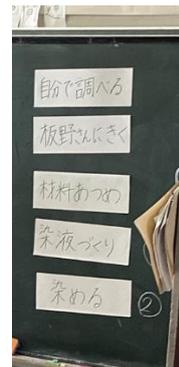
S:放課後に電話するのはどう?

S:そうだね。

T:それでは、これからの計画はこうなりますね。

(黒板に短冊で示した計画を指さす)大丈夫そうかな。

S:(大きくうなずく)



4 学習内容を振り返る。(11:11)

T:まとめをしましょう。デザインを考えたときはどんなことに気を付けるとよさそうですか。

S:デザインの「魅力」と「実現可能か」。

T:そうだね。(まとめを板書する)次の時間は何をしますか。

<まとめ>

デザインは魅力的か実現できるかで考えるとよい。

S:「自分で調べる」

T:わかりました。(ホワイトボードに「㊟(つなぐ)デザインや染め方について調べる」と記述)

T:振り返りをノートに書きましょう。書けた人は近くの人に見せてもらってね。

S4:(振り返りを書く)



<児童の振り返り>
みんなのデザインを見てみると、〇〇市っぽさがたくさんあり、それにどのようにすればうまく染められるのかも知れたので、次回も上手に染めれるためにもっと調べたいと思います。